

大和市 は今年「ここが」変わりました

市が今年1年間に実施した施策の中から、市民生活に密着した主な事業を紹介します。

月	事業	内容【担当課】
6月	TSマークの助成制度を開始	自転車安全利用講習会、自転車乗り方教室などの参加者を対象に、自転車安全整備士の点検整備により、1年間有効の傷害保険と損害賠償保険がつく「TSマーク」制度の助成を開始しました。【安全なまちづくり課☎(260)5118】
	外国人市民サミットを開催	70か国の外国人が住んでいる大和市中で、外国人市民と日本人市民が互いに理解を深め、活動しやすい環境づくりを進めるため、外国人市民サミットを初めて開催しました。【国際・男女共同参画課☎(260)5164】
	AED(自動体外式除細動器)の設置を推進	心臓発作などを起こした人にいち早く処置できるよう、市立小学校など64の公共施設にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。【救急救命課☎(260)5751】
7月	住宅の耐震改修工事を推進	耐震診断費助成(上限6万3千円・原則無料)、耐震改修工事費助成(上限50万円)のほか、耐震改修工事を実施した家屋の固定資産税などを3年間全額減免する制度を整備しました。また、家具転倒防止対策への支援も新設しました。【建築指導課☎(260)5426/資産税課☎(260)5237】
	「ゆとりの森」修景池ゾーンがオープン	厚木基地の南側で整備を進めている「ゆとりの森」に、緩やかな斜面の芝生と中心部のせせらぎからなる「修景池ゾーン」がオープンしました。【みどり公園課☎(260)5450】
8月	高齢者おでかけ支援事業	民間事業者の送迎バスを利用し、高齢者の移動を助ける「高齢者おでかけ支援事業」の実験運行を南林間・西鶴間地区で開始しました。【街づくり総務課☎(260)5444】
	市長と法人企業との懇談会を開催	法人企業と交流を深める場として開催し、企業に雇用、環境、防犯などについて協力を依頼したほか、企業から要望や提案を受けました。【産業活性課☎(260)5135】
	障がい者地域作業所などの運営支援を拡充	障がい者が働く地域作業所などの受注作業を拡大するため、営業経験者などを雇い、受注の新規開拓などを担うコーディネーター業務を委託しました。【障がい福祉課☎(260)5665】
9月	やまとボランティア総合案内所がスタート	ボランティアに関する情報提供や、ボランティアコーディネート組織との調整をサポートする「やまとボランティア総合案内所」を開始しました。【市民活動課☎(260)5103】
	学校図書館を整備	子どもたちに読書への関心と理解を深めてもらうため、市立小学校図書館を親しみやすくリニューアルしています。【指導室☎(260)5210】
	学校給食の食器を改善	市内小・中学校全28校中9校で、給食のアルマイト製食器を、耐熱性や安全性に優れたPEN樹脂製食器に変更しました。【保健給食課☎(260)5206】
10月	太陽光発電の導入を支援	住宅用太陽光発電システムを設置する人に対し、設置費の補助を始めました。すでに同システムを設置し、余剰電力を電力会社に売電している人にも補助を開始しました。【環境総務課☎(260)5493】
	電気自動車の普及と啓発	電気自動車を公用車として1台購入するとともに、急速充電器を設置しました。また、電気を動力とする車両の軽自動車税と市所管の三つの駐車場の駐車料金の減免を始めました。【環境総務課☎(260)5493/市民税課☎(260)5231】
	大規模緑地整備事業	「つるま自然の森」について、地権者の協力を得て、関係機関との調整業務や、用地確保に向けて測量作業をしています。【みどり公園課☎(260)5451】
11月	やまとAED救急ステーションの認定	AED(自動体外式除細動器)を設置している民間施設を「やまとAED救急ステーション」に認定するための要綱を制定し、市民がAEDを活用できる環境の整備を進めています。【救急救命課☎(260)5751】
	韓国・光明市との友好都市提携の締結	今号10分で紹介しています。【国際・男女共同参画課☎(260)5164】
12月	文化芸術振興事業	文化芸術を振興するため、年間を通じてさまざまな事業を実施しています。また、文化芸術振興に関する基本理念などを位置づける「(仮称)大和市文化芸術振興条例」を12月に制定する予定です。【文化振興課☎(260)5222】
	市立小・中学校の耐震化	小・中学校5校の体育館について、耐震化のための建て替え工事の実施設計を行いました。工事は平成22年度に竣工する予定で、これにより市内の全小・中学校の校舎と体育館の耐震化が完了します。【教育総務課☎(260)5204】
	納税電話催告センターを設置	市税や国民健康保険税の滞納者に電話で納付を催告する「納税電話催告センター」を設置しました。【収納課☎(260)5241】
	「やまと24時間健康相談」がスタート	医師や保健師などが、24時間健康相談に応じるコールセンター事業を開始しました。健康や医療に関することだけでなく、介護、育児など幅広い相談を受け付けています。【健康づくり推進課☎(260)5661】
	子ども救急パンフレットを発行	今号16分のトピックスで紹介しています。【健康づくり推進課☎(260)5661】

問い合わせは、市役所総合政策課総合政策担当☎(260)5304へ、個別の事業については各担当課へ。

月	事業	内容【担当課】
1月	市役所本庁舎前広場を「市役所だれでも広場」にリニューアル	本庁舎前の噴水広場を、ステージを配した広場にリニューアルし、市民の皆さんも利用できるようにしたほか、だれでも使える「だれでも掲示板」を設置しました。【管財課☎(260)5311】
	小口零細企業資金融資制度を創設	緊急経済対策として、従業員20人(商・サービス業は5人)以下の会社や個人事業者を対象とした融資制度を創設しました。【産業活性課☎(260)5135】
2月	「健康都市 やまと」宣言	宣言では、「健康都市を目指す」という姿勢を明確に示し、市民の皆さんと協力して健康づくりを進めていきたいという願いを込めています。【政策総務課☎(260)5327】
	市制施行50周年を記念して各種事業を実施	2月1日の記念式典など、この1年間で61件の事業を実施しました。【総合政策課☎(260)5318】
3月	グループホーム建設と特別養護老人ホーム増築の建設費を一部補助	老人福祉施設の整備を推進するため、新たなグループホームの建設と、特別養護老人ホームの増築の費用を一部補助しました。【介護保険課☎(260)5168】
4月	第8次大和市総合計画をスタート	将来都市像を「健康創造都市 やまと」とし、「人」「まち」「社会」が互いにかかわり合い、健やかで豊かな生活をもたらすことを目指した新しい総合計画を策定しました。【総合政策課☎(260)5304】
	市役所の組織改正を実施	質の高い行政サービスを提供するとともに、第8次大和市総合計画を円滑に推進するため、部課の新設や統廃合を行いました。【行政改革推進課☎(260)5352】
	妊婦健康診査費用の助成回数を充実	妊婦と胎児の健康を確保するため、妊娠時の健康診査費用の助成を5回から14回に増やしました。【こども総務課☎(260)5609】
	子どもの放課後の活動場所を確保	放課後に子どもが安心して安全に活動できるよう、拠点を1校から2校に増やし、地域の皆さんの協力を得ながら、さまざまな体験・交流活動に取り組みました。【こども・青少年課☎(260)5224】
	「路上喫煙重点禁止区域」での罰則適用を開始	「大和市路上喫煙の防止に関する条例」に基づき、路上喫煙重点禁止区域で喫煙をやめるよう注意・指導されたにもかかわらず、従わなかった場合に罰則を適用しています。【環境総務課☎(260)5492】
	家庭系有料指定ごみ袋の価格を引き下げ	40%の指定ごみ袋を80円から64円にするなど、ごみ袋の価格を一律20%引き下げました。また、30%のごみ袋を新たに追加しました。【環境総務課☎(260)5497】
	外国語教育の充実	小学校への外国語活動指導助手の派遣時間を増やし、国際化社会に対応した小学校外国語活動を推進しました。【指導室☎(260)5210】
	特別支援教育の充実	特別支援教育ヘルパーを増員し、支援が必要な児童生徒に対する教育環境の充実を図りました。【指導室☎(260)5210】
	歩道セーフティアップ事業	歩行者の安全確保のため、2路線(延長309m)で歩道を改修整備しました。【道路整備課☎(260)5409】
	5月	公用車の青色防犯パトロール車両を増加
全国瞬時警報システム(J-ALERT)の運用を開始		国から受信する地震速報などの緊急情報を、市民の皆さんに瞬時に伝達するため、全国瞬時警報システム(J-ALERT)の運用を開始しました。【危機管理課☎(260)5777】
6月	「がん検診」への取り組みを拡大	集団検診として実施していた胃がん検診を個別医療機関でも受診できるよう体制を整えたほか、特定健診の追加検査項目に前立せんがん検診を追加しました。また、9月には乳がんと子宮頸がんの検診を対象に無料クーポン券を発行しました。【健康づくり推進課☎(260)5662】
	図書館の開館時間を延長	活用される図書館を目指し、市立図書館および学習センター図書室の開館時間を延長する(平日は午後8時まで、土・日曜日、祝日は午後6時まで)とともに、市立図書館では、祝日の月曜日も開館するようになりました。【市立図書館☎(263)0211】
	小学校の市民開放を拡大	市民に生涯学習とコミュニティ活動の場を提供するため、林間小学校の特別教室を新たに市民に開放しました。【生涯学習センター☎(261)0491】